

# 『最強の地域医療』に学ぶ

とき：2019年8月31日14時～16時、ところ：姫路商工会議所5階 501ホール



北海道からささええるクリニックス医師、永森克志さんにお越しいただき「『最強の地域医療』に学ぶ」と題してお話いただきました。予報では雨が心配されましたがなんと持ちこたえ、多職種65名の皆さんに参加していただきました。

写真を交えて北海道の自然のすばらしさや厳しさを紹介していただいたあと、本題に入りました。

## 【地域医療について】

- ・ 地域医療とは、へき地医療ではない、自分の周りの医療のこと
- ・ 病気は専門医療で治すもの、慢性疾患はずっと付き合っていくもの「戦う医療」から「支える医療」への転換が必要
- ・ 「まち」とは「親しい周りの人たち」である  
まちへの愛着がなくなり 要求する人が増えると荒廃していく
- ・ 周りのためになり、認められて居場所があると楽しく生きられる

お三方のお話から『ささええる』が『人が成長し、地域を支える場所』になっていることがよくわかったと同時に『ささええる』で活躍されている皆さんがまぶしく感じられました。

【座談会】  
永森さんに加えて、ささええるクリニックスタッフのお二人にも加わっていただきお話を伺いました。お二人は『ささええる』で働く前は“生活していくのもやっと”だったが、経歴に関係なく地元的女性を雇い育てる『ささええる』に出会えたことが転機となったこと、自らの経験から「場所があれば誰でも輝ける」「人と場に感謝」「自分のできることを地域でやっていきたい」とそれぞれの『ささええる』と『地域』に対する想いを語ってくださいました。

- 【組織やリーダーについて】
- ・ リーダーの適性：その人を子どももの上司にしたいかどうか。対人感性力（機転が利き信頼されること）も大事
- ・ グリット、理念
- ・ 愛情を持って接する、一緒に責任を持つ
- ・ 楽しく学べ笑顔で働ける組織は栄える

